

果樹病虫害発生予察調査結果（9／10調査分）
（三条、加茂、田上地域）

9月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- フェロモントラップ調査では、ナシヒメシンクイの誘殺数が増加傾向です。JAの防除情報等を参考にしながら、これから収穫を迎える品種への被害防止に努めましょう。
- 一部のモモ園地でハダニ類の発生が確認されています。来年の被害軽減のため、9月中旬頃までに主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付け、2月中旬までに外して処分するバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。ナシヒメシンクイ、コナカイガラムシ類にも有効です。

（ナ シ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は依然として発生が増加しており、落葉・落果が確認されている園地もあります。次年度の菌密度を下げるため、満遍なく薬剤がかかるようSSの走行路に注意し、薬剤散布量を増やす等、丁寧な散布を心掛けましょう。また、ほうき枝等は随時整理しましょう。
- 今回調査で黒星病の発生は確認されませんでした。暑さが落ち着き雨が多くなると、翌年の感染源となる芽基部病斑が増加する恐れがあります。落葉まで防除を実施し翌年の感染源対策に努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は一部園地において、新梢葉への発病が確認されています。落葉期(10月下旬頃)まで収穫後防除を実施し、翌年の感染源対策に努めましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉を調査しました。

- 一部で、アザミウマ類による被害が確認されています。9月中旬ごろまで加害が続く恐れがありますので、周囲の品種の収穫日に注意しながら防除を実施しましょう。

次回調査は9月25日(木)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
